

平成30年度 おきぎんふるさと振興基金事業報告書

「はねじコスモスフェスティバル2019」の実施



はねじコスモスフェスティバル実行委員長
平 光男

1. はねじコスモスフェスティバル2019の概要

(1) 背景

2010年から羽地米の緑肥としてコスモスが植えられ、水田が一面コスモスになる風景は、羽地地域の風物詩として少しずつ定着してきている。農家から「何かコスモスを活用した事ができないか」との声から、2018年を第1回目としたイベントが始まった。

(2) 目的

はねじコスモスフェスティバルを開催し、羽地米と羽地地域の周知とともに、羽地地域の特産品や自然の魅力に触れ、それらのもつ意義や重要性についての理解を深めることを目的とする。

(3) 日時・場所

- 日程：2019年1月19日（土）10:00～17:00
- 場所：羽地川上の水田周辺

(4) 開催形態

- ① 主催：はねじコスモスフェスティバル実行委員会
- ② 共催：JAおきなわ羽地支店、JAおきなわ羽地水稻部会、名護市羽地支所
- ③ 協力：羽地支部区長会、瑞穂の郷
- ④ 協賛：おきなわ伊藤園名護工場、ヤンマー沖縄株式会社、株式会社くみき、オリオンビール株式会社名護工場、有限会社良和組

- (5) 協賛企業：ヤンマー沖縄株式会社、株式会社くみき、有限会社良和組、おきなわ伊藤園名護工場、オリオンビール株式会社

(6) 実施内容

- ① オープニングセレモニー
 - 伊差川保育園による和太鼓演舞
 - 主催者挨拶（実行委員長）
 - JAおきなわ様からの挨拶
 - 来賓挨拶（名護市長）



伊差川保育園による和太鼓演舞



名護市長から来賓挨拶

② ステージイベント 司会：セイセイ&ちゃんぽん（Youtuber）

羽地地域の方を中心に、踊りや音楽でコスモスに似合うような華やかなステージとなった。

- アコースティックライブ、フラダンス、ギター弾き語り、琉球舞踊、オカリナ



アコースティックライブで会場を盛り上げる



花に劣らない華やかな琉球舞踊

③ 出店ブース

羽地地域の特産品を中心とした物産や飲食を取り揃え、市内外の来場者に「名護羽地」の魅力や特色を発信する機会とした。

- 出店：実行委員会、雑貨など（１２店舗）、飲食物販売（３店舗）、移動販売（２店舗）、食事提供（３店舗）



羽地米を PR。3kg1000 円の特価で販売



はねじ鶏は地域内外から人気が高い

④ 観光体験

羽地地域の豊かな自然、歴史、文化に触れながら羽地の魅力を再発見し、観光資源として PR を行う。

- レンタサイクル、コスモス散走（自転車ツアー）



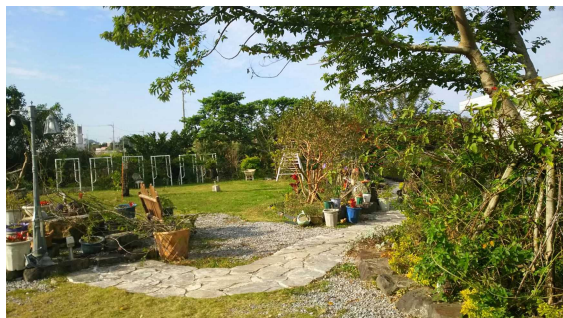
レンタサイクル



コスモス散走

⑤ オープンガーデン2019羽地

「ウキウキ、ワクワク。来て観てわかる羽地」をコンセプトに 17 軒のお庭に期間限定で無料で入る事ができるイベント。多野岳を背に、羽地内海や羽地大川など自然の美しさと手入れされた庭で多くの人を羽地地域に迎え入れた。



広大な庭にを期間限定で



赤レンガと鮮やかな花たち

⑥ マナーアップ



花を採ったり、畦道を強なさいように
看板26本を立てて注意喚起した

2. 広報結果

新聞やテレビの他、情報掲載サイト（ごーやどっとねっと、ぴらつか暦、やんばる旅ナビなど）やSNSを中心に宣伝した。



ポスター



羽地の水田で500万本のコスモスが 出迎える

名護市の羽地地区にある約5万坪の水田で開催。羽地地区一帯で作られる羽地米をはじめ、羽地米の甘酒やリキュール「米の花」、呉我茶(ごがちゃ)、特産品やハンドメイド雑貨などを販売する他、レンタサイクルや名護産コーヒーの試飲や焙煎体験も実施するなど内容盛りだくさん。当日は「はねじ鶏フードフェスティバル」も同時開催する。

[公式ホームページなど、はねじコスモスフェスティバル2019の詳しいイベント情報を見る]

情報掲載サイト Walker+の記事

3. 所感

台風の影響で花が咲いている箇所と咲いていない箇所が分かれたが、天気にも恵まれ約800名の来場者があり、駐車場に入りきらない時間帯もあった。

今年の新たな取り組みとして、より羽地地域の魅力を発信するために、はねじ鶏フードフェスティバルと連携して同じ会場で実施したことや、写真映えするようなベンチを作成するなど、羽地地域の食と景観の活用を図り、来場者に対して羽地地域をより広く周知できたと考えている。

また、地域の様々な方々にステージや出店等の役割を担ってもらい、効率的に進める事ができ、さらに連携強化も同時にできたと感じている。

今後は実行委員会をはじめ、羽地振興会、羽地区長会等、JA おきなわ羽地支店、羽地ダム管理事務所など、関係機関とさらに連携を深め、自己資金で継続して開催できるような魅力ある祭りにしていきたい。

謝辞：おきぎんふるさと振興基金のご支援により、イベントは大成功に終わりました。関係者一同より、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。